兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会主催
令和８年度第１回兵庫県院内がん登録実務者ミーティング議事録

開催日時：2026年9月25日（金）14：00～16：00　　場所：兵庫県立がんセンター（Zoom参加を含む）
参加者：35施設（参加人数　集合研修41名　Zoom参加11名　計52名）　　当番病院（司会）：北播磨総合医療センター

１　開会の挨拶　　兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 副部会長 安東 正子

２　兵庫県がん診療連携協議会ホームページ2024年診断症例の公表案について　　同部会 副部会長 山口 真理子

(1) 協議会ホームページへの「2023年症例がん登録情報」公表スケジュールについて
今年度、2024年症例がん登録施設別集計公表案について説明があった。全国症例集計公表が遅れているため、一部未提出の病院があった。公表され次第提出すること。

(2) 院内がん登録角拠点病院詳細情報について
各施設の強みをアピールしたい内容を自施設の意向で活用可能である。更新は、がんセンターまで連絡のこと。

３　全国がん登録　利用マニュアルの改訂について
兵庫県疾病対策課より全国がん登録利用マニュアルの改訂について説明があった。今回の改訂により、法第20条申請によって得た生存確認情報を自施設外へ提供する際の「加工・管理・復元防止・手続」が明確になった。申請のための新様式の公開時期・切替時期等は、準備が整い次第お知らせする。

４　グループワーク

(1) 各グループ討議
全体を７班（会場参加グループ６班、Zoom参加１班）に分けて、①現在のがん登録データの活用状況
②がん登録データの今後について意見・情報交換を行った。

(2) 発表
各グループでの討議終了後、１分程度で討議結果の発表を行った。

５　事務局からの連絡

(1)兵庫県立がんセンターの取り組みについて
がん登録を院内スタッフに伝えるため、独自に「がん登録ニュース」を発行・配布して広報活動を行っている。

ア　データ利活用の具体例;
・次世代医療基盤法に基づく医療情報との連結解析プロジェクト（QI研究など医療療の質・資源の評価）。
・リアルワールドデータ(RWD):臨床研究としての電子カルテとがん登録の連携(京都大学開発プロジェクト)
・がんゲノム（ゲノム医療）：C-CAT（がんゲノム情報）データとDPC情報の連携、データ抽出・提出。

イ　実務者の役割は「精度管理」「データ連携の品質確保」「研究者とデータの架け橋」であり、地位向上とリソース確保のために院内外へ価値を発信していくことが重要である。

(2) 決定事項

ア　次回の事務局会議（研修）について
・開催日：来年２月５日金曜日　　講師：国立がん研究センター 江森先生
講義内容：消化管の高分化型神経内分泌腫瘍（NET）　当番病院：公立豊岡病院

イ　令和９年度～11年度の当番（幹事）病院の決定
・令和９年度：第１回 神鋼記念病院 / 第２回 丹波医療センター（オンライン）
・令和10年度：第１回 宝塚市立病院 / 第２回 加古川中央市民病院
・令和11年度：第１回 県立尼崎総合医療センター / 第２回 北播磨総合医療センター

ウ　今後の講義内容方針
国立がん研究センターの部位別テキストの順序に準拠して進行（※講師都合で前後する可能性あり）。
・令和９年度（来年度）予定：胸膜腫瘍（中皮腫など）　・令和10年度予定：骨・軟部腫瘍
・令和11年度予定：消化管間質腫瘍（GIST）または皮膚

６　閉会の挨拶
兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 副部会長 山口 真理子

以上